
ヒュスコワールド-僕と精霊（キミ）の風（ヴィント）-

鳳条院蛮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヒュスコワールド - 僕と精霊キミの風ガイント -

【Nコード】

N1670Y

【作者名】

鳳条院蛮

【あらすじ】

ヒュスコワールド、この世界の中の一つの大陸、アルクウアトス。その大陸の中のファンエイク・リーンという国の物語

序章・風の王の衰弱

今、一国の王の命の灯火ともしびが弱まっていた…。
ファンエイク・リーン27代目国王ヴィントス・F・ヴィンクスである。

「リサよ…。パレイティムを呼んでくれ…」
とヴィンクスは、侍女リサに弱々しい声で頼む。
「わかりました。すぐに連れてまいります」
と言つて、リサは部屋を出て行った。

（私が生きているうちに…なんとしても…！）
ヴィンクスは焦っていた。
なぜなら、ファンエイクリーンでは、男性でなければ王になることはできない。

しかし、ヴィンクスは疾風の魔王ゲルボロスとの闘いで
女の子しか生まれないように呪いをかけられてしまい、男の子の後
継者ができなかつたのだ。

リサが部屋を出てから数分後
「失礼します。連れてまいりました」とリサとパレイティムが部
屋に入ってきた。

「ヴィンクス様、何かご用件でありますか？」
凜とした声で、パレイティムは質問をする。

「うぬ…。二人つきりで話したい」
そついうと、リサは「失礼しました」と言つて部屋を出て行った。
「ヴィンクス様のことを理解してる方ですね」

「まあリサとは長い付き合いだからな」
「それよりも、本題に入ろつ。パレイティムよ」

「ハイ。重要なご用件と察しますが…？」
「そうだ。これは、風乙女ヴィントリーの者だけに伝えよ。用件は……………」

「そ、それは本当なのですか!？」

あまりのことにパレイティウムはびっくりしてしまった。

「そうだ。まずは、Fの神殿^{ファンエイク}に行け。そこの精霊に話を聞けば居場所がわかるであろう」

そういうと、Fの紋章とヴィンクスの血の入ったピンを

パレイティウムに渡した。

「私はもう長くない。早急に頼んだぞ」

「了解しました。必ず御連れしてまいります」

そう言つて、パレイティウムは部屋を出た。

パレイティウムが部屋を出てすぐリサが部屋に入ってきた。

「お話は御済になられましたか？」

「ああ、私は少し寝ることにするよ」

「かしこまりました。私は、あなたが寝るまで傍にいきましょう」

「そうしてくれると嬉しいよ。リサ」

「…あなたがそんな風に言うなんて珍しいですね」

「ただの気まぐれだよ…」

「はいはい、気まぐれー気まぐれですね」

「なんだよ。その見透かしたような言い方…」

「あなたのことはなんでもわかるんです」

つと二人は他愛もない会話を繰り返し、

ヴィンクスは眠りについた。

「それにしても、よくどうでもいい会話で楽しそうにしてられるな」
リサの体の中から声がする。

「あら、私は、ヴィンクスと話をしてるだけで楽しいですもの」

「…のろけか」

「もーう、すぐベリルはそうやって意地悪言っ」

「のろけにのろけと言つて何が悪い。それより王も寝たことだし、
私も休憩しようぜ」

「…」

「…なんだよ」

「いえ、なんでも。私たちも休憩しましょうか」

「そ、そうだな」(さっきの間が怖いな…)

ベリルは、体の弱かったリサのためにベリル自身をリサの体に取り込ませることにした。

そのおかげで、今の元気なりサがあるのだ。

(元気なのはいいが、元気すぎるのは困り者だな…)

「今日は、ウヴァにしましょう。後、ミルクも用意しなきゃ」

リサは楽しそうに準備をして、二人でティータイムにした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1670y/>

ヒュスコワールド-僕と精霊（キミ）の風（ヴィント）-

2011年11月16日19時19分発行